

主な仕様

電源 DC4.5V(単3形乾電池×3本:別売)
外部電源:DC5V(microUSB接続)
スピーカー 1W □径40mm/8Q(80Hz~10kHz)
内蔵マイク 周波数100Hz~10kHz
集音範囲 約3m

接続端子

●電源: microUSB
●外部入力: φ3.5mmステレオミニプラグ
●音声出力: φ3.5mmステレオミニプラグ
ストレージ microSDカード(~SDHC16GB)
ファイル形式

●読み込み: MP3(32~320kbps/44.1kHz推奨)
●録音: MP3(128kbps / 44.1kHz)

最大ファイル/フォルダー数

9999ファイル/255フォルダー(9階層まで)
ラジオ受信周波数
AM 522~1620kHz(内蔵フェリトバーアンテナ)
FM 76~90MHz(ロッドアンテナ)

※連続使用可能時間の目安、及び録音可能時間の目安は使用状況により異なります。※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。※取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

連続使用可能時間の目安

新品アルカリ乾電池使用(音量中位)の場合

●SD録音/再生時 約28時間
(イヤホン時 約30時間)
●ラジオ/約35時間
(イヤホン時 約40時間)

録音可能時間の目安

●2GB 約33時間
●4GB 約65時間
●8GB 約130時間
●16GB 約260時間

外形寸法

幅132mm×高さ81mm×奥行36mm
(突起物を含みます)

質量 約178g(乾電池を除く)

付属品 取扱説明書、保証書、ステレオイヤホン
(約1m)、USBケーブル(約80cm)

AudioComm®

取扱説明書

AM・FMラジオ付 メモリーカードレコーダー

型番:ICR-SD308K-W

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書が添付しておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び販売店、お買い上げ年月日などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

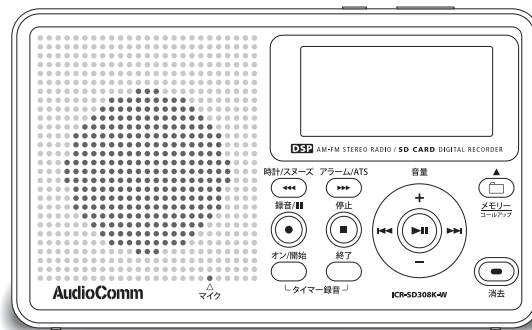
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

修理に関する相談は 修理ご相談センターへ
電話受付 048-992-3970 平日9:00~17:00
土・日・夜及び年末年始は除きます

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ
●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735
電話受付 平日9:00~17:30 土曜9:00~17:00
※日曜・祝日及び年末年始は除きます

09-3088B



このたびは、AudioComm® AM・FM ラジオ付メモリーカードレコーダーを
お買い上げいただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
“この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にご使用ください。”また、お読みになった後も、
ご使用時にいつでも見られるよう大切に保管してください。

目次

免責事項	2
安全上のご注意	2~4
著作権について	4
乾電池の入れかた	5
microSDカードについて	5
各部の名称	6
microSDカードの着脱方法	7
ロック機能	7
横置きで使うときは	7
電源のオン/オフとバックライト	8
時刻の設定方法	8
ラジオを聴く	
手動選局	9
メモリー選局	10
ATS(自動登録)	10
ラジオ放送を録音する	
手動録音	11
タイマー録音	11~12
内蔵マイクを使って周囲の音を録音する	13
外部入力端子を使って外部機器の音楽を録音する	14
microSDカードのファイルを再生する	15~16
microSDカードのファイルを消去する	16
PC-L機能を使う	17
アラーム	18~19
スリープ	19
外部機器のスピーカーとして使う	20
イヤホンで聴くときは	20
外部電源で使用するときは	21
リセットボタンについて	21
故障かなと思ったら	22
お手入れのしかた	22
主な仕様	裏表紙
保証書とアフターサービスについて	裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。




- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用によって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意




電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

- | | | |
|---|-----------|--|
|  | 危険 | この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。 |
|  | 警告 | この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。 |
|  | 注意 | この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。 |



絵表示の使用例

- | | |
|--|---|
|  | △記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
(左図の場合は感電注意が描かれています。) |
|  | ○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
(左図の場合は分解禁止が描かれています。) |
|  | ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
(左図の場合は、ACアダプターをコンセントから抜く、が描かれています。) |








警告

 使用禁止	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	 禁止	車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない ●交通事故の原因になります。 ●歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。
 使用禁止	万一、内部に水や異物などが入った場合は、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	 禁止	ACアダプター(別売)使用時 指定以外のACアダプターを使わない。特に海外では絶対に使わない ●異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となる場合があります。
 禁止	分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。	 禁止	ACアダプター(別売)使用時 本機やACアダプターを布団などで覆わない ●熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。
 禁止	台所や浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない ●火災や感電のおそれがあります。	 接触禁止	ACアダプター(別売)使用時 雷が鳴りだしたら、本機やACアダプターに触れない ●感電の原因になります。
 乾電池に注意	乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する ●乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。	 濡れ手禁止	ACアダプター(別売)使用時 本機やACアダプターを濡れた手で操作しない ●感電の原因になります。

注意



 禁止	ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない ●落下による故障やけがの原因となる場合があります。	 禁止	窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●故障の原因となる場合があります。
--	---	---	---

注意

 禁止	湿気やほこりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。	 正しく入れる	乾電池を挿入するときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れる ●間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 禁止	落としたり、重いものを載せたりしない。また、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない ●本機の故障や破損の原因になることがあります。	 禁止	指定以外の乾電池は使用しない ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 禁止	はじめからボリュームを上げすぎない ●突然大きな音が出て、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。	 乾電池を取り外す	長時間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す ●火災・液もれの原因となることがあります。
 禁止	長時間、大音量で聴き続けたい ●周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。	 禁止	電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニター等)に近づけない ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズの原因となります。

乾電池を安全にお使いいただくために

乾電池の液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

 警告	 注意
●火中への投入、加熱、分解をしない ●乾電池を幼児に触らせない ●ショートさせない ●新しい乾電池と使用した乾電池、種類の異なる乾電池(マンガンとアルカリ)を混ぜて使わない	●⊕⊖の表示通りに入れる ●指定以外の乾電池を使わない ●使い切った乾電池はすぐに取り出す ●しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

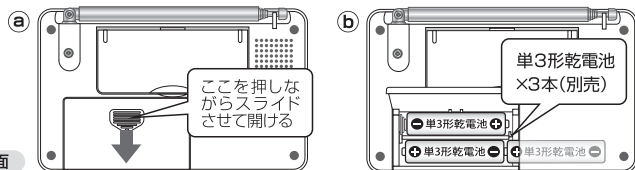
- 万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一お子様が乾電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 万一もれた液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ってください。医師に相談してください。失明の原因となります。
- 使用済みの電池を廃棄するとき、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

著作権について

放送やレコードその他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープ、コンパクトディスクなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれらから録音したものは個人として楽しむなどの場合は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

乾電池の入れかた

- 1 本機背面の電池ぶたを押しながら、矢印の方向にスライドさせて開けます(下図③参照)。
- 2 ⊕⊖の向きに注意しながら、単3形乾電池3本(別売)を正しく入れます(下図⑤参照)。
- 3 乾電池を入れ終えたら、電池ぶたを元通りにしっかりと閉めてください。



背面

ヒント 乾電池を入れた直後は：電池残量の確認が行なわれず、そのためしばらくは、電池マークが空の状態であって減ります(バックライトは約7秒後に点灯)。

乾電池交換の目安：乾電池が消耗すると、ラジオの受信状態が不安定になったり、音量が小さくなったりします。このような状態になったら、乾電池を新しいものと交換してください。



乾電池交換時の各種設定の保持について：乾電池の取り外しを行なうと、以下の設定が破棄されますので、再設定が必要です。

- 現在時刻の設定
- ファンクションのラストメモリー
- アラーム設定
- タイマー録音設定

microSDカードについて

本機ではmicroSDカード(別売)にラジオや周囲の音を録音したり、microSDカード内の音楽や音声再生することができます。

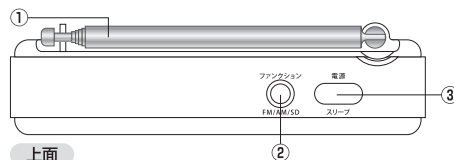
使用できるmicroSDカード	SDHC16GBまでのmicroSDカード
読み取り可能なファイル/フォルダー数	最大9999ファイル/255フォルダー(9階層まで)
読み取り可能なファイル形式	MP3(32～320kbps / 44.1kHz推奨)
本機での録音ファイル形式	MP3(128kbps / 44.1kHz)

本機のディスプレイでは、以下のように表示されます。＊ファイル名のXXXXは通し番号

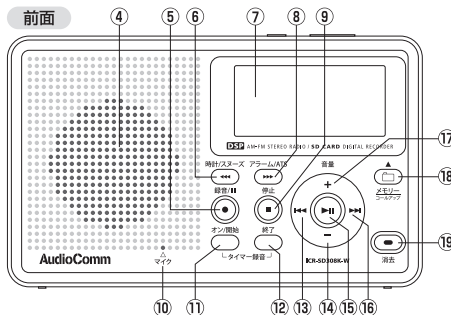
本機での表示	ファイル内容	PCでのフォルダー名	PCでのファイル名
A	本機以外で保存した音楽ファイル	任意	任意
B	本機でのマイク録音ファイル	mic	micXXXX.mp3
C	本機でのラジオ録音ファイル	radline	radXXXX.mp3
	本機でのライン録音ファイル	radline	lineXXXX.mp3

ご注意 microSDカード内にmp3以外のファイル(画像ファイル、テキストファイルなど)が混在していると、正しく読み取れなかったり、表示されない場合があります。

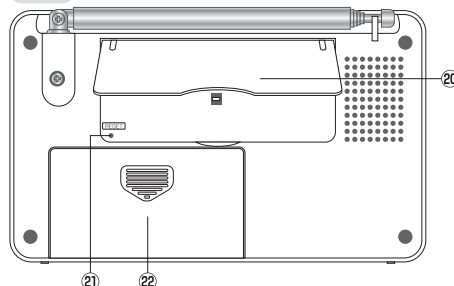
各部の名称



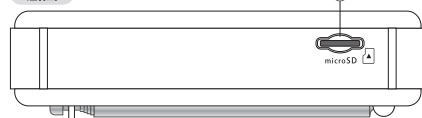
上面



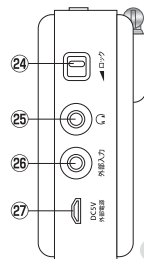
背面



底面



- ① FMロッドアンテナ
- ② ファンクションボタン
- ③ 電源/スリープボタン
- ④ スピーカー
- ⑤ 録音/録音一時停止ボタン
- ⑥ 時計/スヌーズ/10曲スキップボタン(-)
- ⑦ ディスプレイ
- ⑧ アラーム/ATS/10曲スキップボタン(+)
- ⑨ 停止ボタン
- ⑩ 内蔵マイク
- ⑪ タイマー録音開始設定・オン/開始ボタン
- ⑫ タイマー録音終了設定ボタン
- ⑬ スキップボタン(-)
- ⑭ 音量ボタン(-)
- ⑮ 再生/一時停止ボタン
- ⑯ スキップボタン(+)
- ⑰ 音量ボタン(+)
- ⑱ フォルダー/メモリー/コールアップボタン
- ⑲ 消去ボタン
- ⑳ スタンドフラップ
- ㉑ リセットボタン
- ㉒ 電池ぶた
- ㉓ microSDカードスロット
- ㉔ ロックスイッチ
- ㉕ イヤホン端子
- ㉖ 外部入力端子
- ㉗ DC IN端子(microUSB)



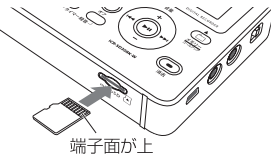
右側面

microSDカードの着脱方法

データの破損を防ぐため、microSDカードの着脱は電源が切れた状態で行なってください。

装着するときは… 本機底面のmicroSDカードスロットにmicroSDカードを差し込みます。

※向きに注意し、カチッと音がするまで差し込んでください。



端子面が上

取り外すときは… 爪先などでカチッと音がするまで押し込み、指を離します。その後、押し出されたmicroSDカードを取り出します。

※取り出したmicroSDカードは無くさないよう専用ケースなどに保管してください。

ヒント microSDカードは精密機器です。万一の故障や破損、紛失に備えて、データのバックアップを取っておくことをおすすめします。

ロック機能

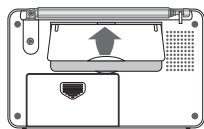
本機右側面のロックスイッチを矢印の方向に動かすと、ロック機能が有効になり、ボタン操作ができなくなります。持ち運び時などに、誤って電源が入ったり意図しない動作を防ぐことができます。



右側面

横置きで使うときは

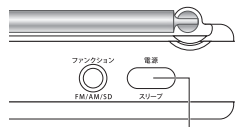
背面のスタンドフラップを起こして横置きにして使用することができます。



ご注意

本機の上に重い物を載せたり、上から物を落とさないようにご注意ください。破損や故障の原因になります。

電源のオン／オフとバックライト



上面 電源／スリープボタン

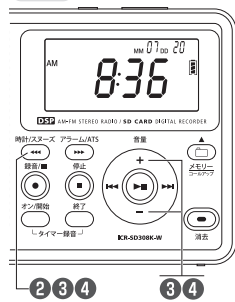
電源オン：電源／スリープボタンを押すと、ディスプレイのバックライトが点灯し、電源が入ります(バックライトは無操作時には約7秒後に消灯します)。

電源オフ：電源／スリープボタンを押します(電源を切るときも、一時的にバックライトが点灯し、約7秒後に消灯します)。

ヒント 電源が切れているとき、本機のいずれかのボタンを押すと、バックライトが約7秒間点灯します。夜間など、暗い場所で時刻を確認するときなどに便利です。ただし、電源／スリープボタンは電源オン、録音タイマーボタン(オン／オフ)は録音タイマーの設定操作、時計／スヌーズ／10曲スキップボタン(ー)は年号表示、アラーム／ATS／10曲スキップボタン(+)はアラーム設定時刻表示となります。

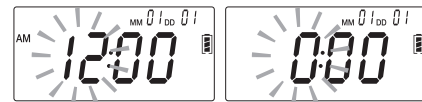
時刻の設定方法

前面



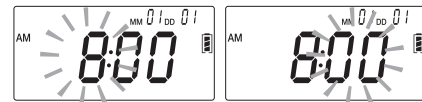
年月日の表示例

- 1 電源が切れていることを確認する。
- 2 時計／スヌーズ／10曲スキップボタン(ー)を長押しする。時刻の「時」表示が点滅するまで長押ししてください。



停止ボタンを押すと12／24時間表示の切換えができます。

- 3 音量ボタン(＋／－)で「時」を選び、時計／スヌーズ／10曲スキップボタン(ー)を押す。「分」表示が点滅します。



午前はAM表示。午後のPM表示はありません。

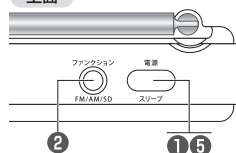
- 4 ステップ3と同様の操作で、「分」→「年」→「月」→「日」を設定する。「日」の設定後、時計／スヌーズ／10曲スキップボタン(ー)を押すと、すべての設定が完了します。

ヒント 電源オフ時に時計／スヌーズ／10曲スキップボタン(ー)を押すと、年表示になります。約3秒経つと時刻表示に戻ります。
電源オン時(ラジオを聴いているときのみ)に同ボタンを押すと：現在の時刻を約3秒間表示します(その後周波数表示に戻ります)。

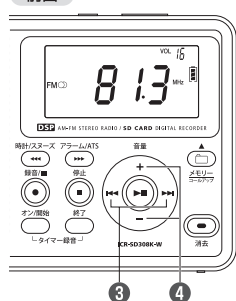
ラジオを聴く

手動選局

上面



前面

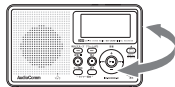


ヒント

よりクリアな放送を
楽しむために…

AM放送の場合

AMアンテナは本機に内蔵
されています。本機の向き
を変えて調節してください。



FM放送の場合

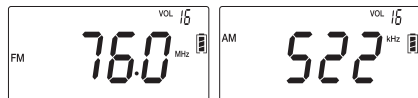
FMロッドアンテナを伸ばし、ア
ンテナの角度や本機の向き・
場所を調節してください。

1 電源/スリープボタンを押して電源を入れる。

バックライトが点灯します。
2回目以降に電源を入れた
ときには、最後に使用してい
たファンクションになります。

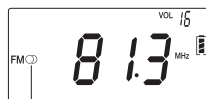


2 ファンクションボタンを押してFMまたはAMを選ぶ。 ファンクションボタンを押すたびに、FM放送→AM放送→ SDカードモードの順で切り換わります。



3 スキップボタン(+/-)を押して聴きたい放送局を選ぶ。 ●短く押すと：FM放送では0.1MHz単位で送ります。 AM放送では9kHz単位で送ります。

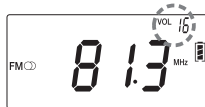
●長押しすると：周波数が昇順(降順)で送られ、いちばん
最初に受信できた放送局で
止まります。



FMステレオ受信マーク

FM放送をステレオで受信すると、FMステレオ受信マーク
が点灯します。ファンクションボタンを長押しすると、ステ
レオ⇄モノラルの切り換えが可能です。

4 音量ボタン(+/-)で音量 を調節する。 音量の上げすぎにご注意く ださい。



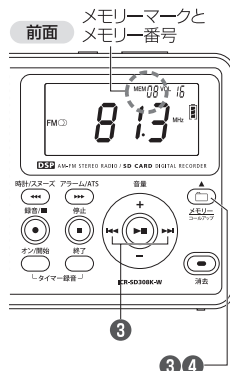
5 終了するときは電源/スリー プボタンを押す。

バックライトが点灯し、時刻表示
に戻った後、しばらくして消灯し
ます。

メモリー選局

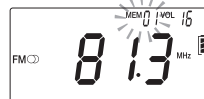
FM放送最大20局、AM放送最大10局を登録できます。

よく聴く放送局をメモリー登録して、簡単に選局することができます。

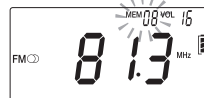


1 登録したい放送局を受信する。 ※P.9参照

2 メモリーマークとメモリー番
号が点滅表示するまで、フォル
ダー/メモリー/コール
アップボタンを長押しする。



3 スキップボタン(+/-)を押して
登録したいメモリー番号を選
び、フォルダー/メモリー/
コールアップボタンを押す
=登録完了

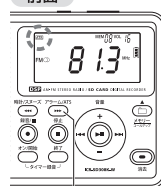


4 メモリー登録した放送局を受信するときは、フォルダー/メモ
リー/コールアップボタンを数回押して、メモリー番号を選ぶ。
メモリー登録した放送局を受信中は、メモリーマークとメモ
リー番号が点灯します。ただし、スキップボタン(+/-)で周
波数を動かすと、元に戻してもメモリーマーク及びメモリー
番号は表示されません。

ATS (自動登録) FM放送最大20局、AM放送最大10局を登録できます。

お使いのエリアで受信可能な放送局をワンタッチで自動登録することができます。

前面



【自動登録のしかた】

自動登録したいバンド(FMまたはAM)を選び、アラーム/ATS/10曲
スキップボタン(+)を長押しする。

「ATS」が点灯したら指を離します。メモリーマークとメモリー番号(01)
が点滅しながら周波数が自動で送られ、受信可能な放送局が見つかる
と01から順に登録していきます。

【自動登録した放送局の選び方】

メモリー選局と同様に、フォルダー/メモリー/コールアップボタンを数
回押して、メモリー番号を選ぶ。

アラーム/ATS/10曲スキップボタン(+)

ヒント

メモリー登録を変更するには：上記「メモリー選局」のステップ①～④で上書き
したい番号を選び、新たな放送局に設定し直すことで変更できます。

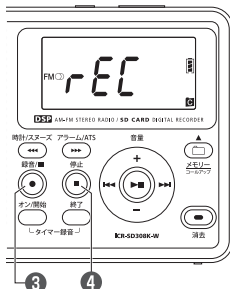
メモリー番号選択中に、再生/一時停止ボタンを押すと：スキップボタン(+/-)
で前後のメモリー番号の選択が可能です。

自動登録を行なうと、メモリー選局で登録した放送局は01から順に上書きされま
すのでご注意ください。

ラジオ放送を録音する

手動録音

前面



- 1 電源が切れた状態で、microSDカードを本機に装着する。
※P.7参照
- 2 電源を入れ、録音したい放送局を受信する。
※P.9参照
- 3 録音 / 録音一時停止ボタンを長押しする。
「REC」表示と同時に録音が始まり、経過時間表示に変わります。録音中はRECマークが点灯し、スピーカーイヤホンからラジオの音声を聞くことができます。
※録音開始のタイミングによって経過時間の前に「--:--」が表示されることがあります。その場合、経過時間が途中から表示されますが、すでに録音は始まっていることがあります。



ご注意

- microSDカードの空き容量をご確認ください。
- 録音は、ボリュームに関係なく一定の音量で記録されます(録音中のラジオ音量調整は可能です)。
- 録音中は、外部入力端子にプラグを差し込まないでください。

ヒント

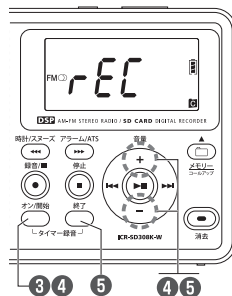
録音されたラジオの音声ファイルは：microSDカードに自動生成される「C」フォルダーに録音順に保存されます(パソコン上では「radline」フォルダー内に「rad XXXX.mp3」のファイル名で表示されます。 ※XXXXは録音順の数字)
ファイルを再生するには：P.15～16を参照してください。

タイマー録音

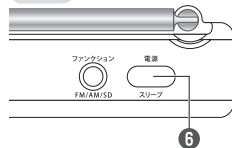
録音開始時刻と録音終了時刻を設定して、ラジオ放送をタイマー録音することができます。
設定できるのは1プログラムのみ。毎日同時刻に録音することも可能です。

- 1 電源が切れた状態で、microSDカードを本機に装着する。※P.7参照
※SDカードがない場合でもタイマー設定はできますが、録音されません。
- 2 電源を入れて録音したい放送局を受信した後、電源を切る。※P.9参照

前面



上面



ご注意

- SDカードが挿入されていることをご確認ください。
- 時計設定時刻が正しいことをご確認ください。

- 開始終了設定時、約10秒間無操作状態が続くと自動的に設定値を保持します。
- 現在設定時刻より3分以内の時刻を開始時刻には設定できません。
- タイマー録音時間が1分以内の設定はできません。また、動作しません。
- 録音時間は開始設定時刻から23時間29分以内で設定可能です。長時間録音を設定の際は、乾電池の残量にご注意ください。また、USBからの電源供給にてご使用をおすすめします。
- タイマー録音設定を解除しない場合、毎日設定時刻にタイマー録音が動作します。
- 録音動作中は、音声が出力されますので音量にご注意ください。

ヒント

タイマー録音設定の設定・解除：本機使用中でも、タイマー録音開始設定・オン/開始ボタンを押す(録音開始時間が表示)ことで設定・解除ができます。「ON」表示を点滅させる、あるいは「ON」表示を消灯させ、約5秒無操作にて設定・解除できます。
開始時刻が近づくと：タイマー録音開始時刻の約1分前に電源が入りラジオを受信します。設定した時刻になると自動で録音が始まります。またタイマー録音終了時刻になると録音を終了し、電源が切れます。

- 3 タイマー録音開始設定・オン/開始ボタンを長押しする。
ディスプレイの「TIMER REC」が点灯し、「ON」と「時」が点滅します。



- 4 音量ボタン(+/-)でタイマー録音を開始する「時」を選び、タイマー録音開始設定・オン/開始ボタンを押す。同様に「分」を選び、タイマー録音開始設定・オン/開始ボタンを押す。
録音開始時刻の設定が完了します。



※現在時刻設定から3分以内の場合、設定できません(分表示点滅)。

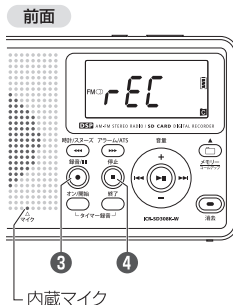
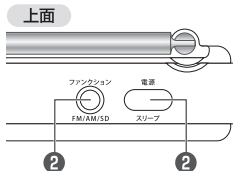
- 5 タイマー録音終了設定ボタンを長押しした後、ステップ4と同様の操作で、タイマー録音を終了する時刻を設定する。
設定が終わると「TIMER REC ON」が点灯します(タイマー録音待機中)。



※開始設定時刻から1分以内の場合、設定できません(分表示点滅)。

- 6 電源をオフにする。
本機を使用中は、タイマー録音機能が動きません。

内蔵マイクを使って周囲の音を録音する



- 1 電源が切れた状態で、microSDカードを本機に装着する。
※P.7参照

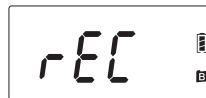
- 2 電源を入れた後、ファンクションボタンを押して、ファイル再生モードにする。



microSDカードが空の場合
は、「n0」と表示されます。

- 3 録音 / 録音一時停止ボタンを長押しする。
「REC」表示と同時に録音が始まり、続いて経過時間表示に変わります。

※録音開始のタイミングによって経過時間の前に「---」が表示されることがあります。その場合、経過時間が途中から表示されますが、すでに録音は始まっていることがあります。



録音中はRECマークが点灯

録音を一時停止するときは：録音中に録音 / 録音一時停止ボタンを押すと、録音を一時停止します（経過時間表示とRECマークが点滅）。もう一度押すと再開します。

- 4 録音を終了するときは、停止ボタンを押す。
「StoP」と表示されて録音が終了し、ファイル番号が表示されます。そのまま再生 / 一時停止ボタンを押すと、そのファイルを再生します。



ご注意

録音は、ボリューム位置に関係なく一定音量にて記録されます。

ヒント

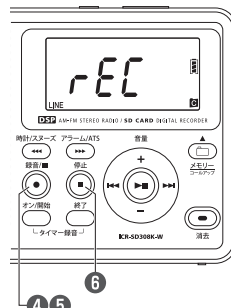
録音をする前に：内蔵マイクを音源に近づけて試し録音を行ない、適切に録音されるかテストしてみることをおすすめします。

内蔵マイクで録音された音声ファイルは：microSDカードに自動生成される「B」フォルダーに録音順に保存されます（パソコン上では「mic」フォルダー内に「mic XXXX.mp3」のファイル名で表示されます。 ※XXXXは録音順の数字）

ファイルを再生するには：P.15～16を参照してください。

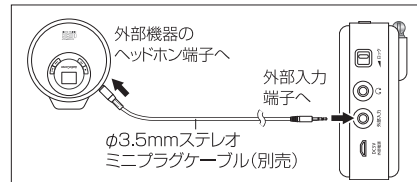
外部入力端子を使って外部機器の音楽を録音する

前面



- 1 電源が切れた状態で、microSDカードを本機に装着する。
※P.7参照

- 2 下図を参照し、本機と外部機器を接続する。
電源が切れた状態で接続してください。

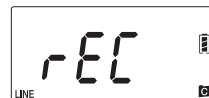


- 3 本機と外部機器の電源を入れる。

ファンクションが自動的に外部機器に切り換わります（「LINE」点灯）。他のファンクションへの切り換えはできません。



- 4 録音 / 録音一時停止ボタンを長押しし、直後にもう一度、同ボタンを押す（=録音待機）



経過時間表示とRECマークが点灯

- 5 録音 / 録音一時停止ボタンを押して録音一時停止を解除し、直後に外部機器で再生操作をする。

録音中は外部機器の音楽が増幅され、本機のスピーカーから出力されます。



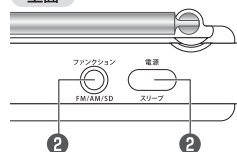
- 6 録音を終了するときは、停止ボタンを押す。
「StoP」と表示されて録音が終了し、ファイル番号が表示されます。そのまま外部機器からの音声出力は続きますので、必要に応じて停止などの操作を行なってください。

ご注意

データの入っていないmicroSDカードに録音すると：録音は可能ですが、再生時にフォルダーの選択ができません。事前にPCから何らかのMP3ファイルをコピーしておくか、内蔵マイク / ラジオ / 外部入力を使って何らかの録音を行なってください。

microSD カードのファイルを再生する

上面

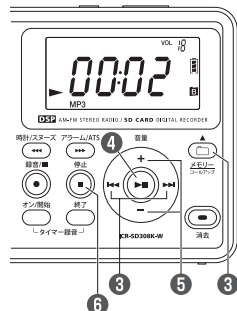


- 1 電源が切れた状態で、microSDカードを本機に装着する。
※P.7参照
- 2 電源を入れた後、ファンクションボタンを押してSDカードモードを選択する。



フォルダー内のファイル数が表示されます。

前面



- 3 【フォルダーやファイルを選んで再生する場合】
フォルダー／メモリー／コールアップボタンを押して再生したいフォルダーを選ぶ。その後、スキップボタン(+/-)で再生したいファイル番号を選ぶ。



フォルダーを選ぶ



ファイル番号を選ぶ

フォルダー表示	ファイル内容
A	本機以外で保存した音楽ファイル
B	本機でのマイク録音ファイル
C	本機でのラジオ録音ファイル
	本機でのライン録音ファイル

各フォルダー内のすべてのファイルを再生後、停止します。

- 4 再生／一時停止ボタンを押す(=再生開始)。

再生中に再生／一時停止ボタンを押すと、再生を一時停止します(経過時間表示と再生マークが点滅)。もう一度押すと再生を再開します。

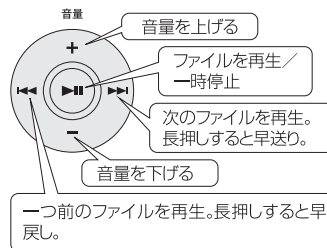


- 5 音量ボタン(+/-)で音量を調節する。
音量の上げすぎにご注意ください。
- 6 再生を停止するときは停止ボタンを押す。
ファイル数表示に戻ります。

ヒント

SDカード動作停止状態が約3分続いた場合、自動的に電源がオフされます。

再生時のボタン機能

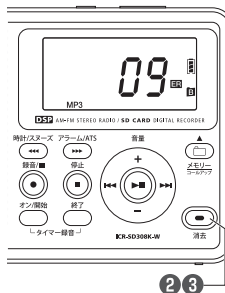


時計/スヌーズ	10曲前のファイルを再生
アラーム/ATS	10曲先のファイルを再生
録音/再生	長押しで録音開始。録音中に押すと録音一時停止。もう一度押すと録音再開。
停止	再生や録音を停止。
フォルダー	フォルダーを選択。

※時計/スヌーズ/10曲スキップボタン(-)と、アラーム/ATS/10曲スキップ(+)ボタンは、フォルダー構成などによって、必ずしも10曲前または後のファイルにジャンプするとは限りません。フォルダー内が10曲以下の場合、先頭もしくは最後のファイルに移動します。

microSD カードのファイルを消去する

前面



- 1 消去したいファイル番号を表示させる。
※P.15のステップ1~4参照



ファイル番号を選ぶ

ファイル番号が分からないときは、消去したいファイルを再生し、途中で停止ボタンを押してください。ディスプレイは総ファイル数を表示しますが、そのファイルが選ばれている状態になります。

- 2 消去ボタンを長押しする

「ER」が点滅します。「ER」は5秒間点滅し、その間に次の操作を行なわないとキャンセルされます。



ご注意

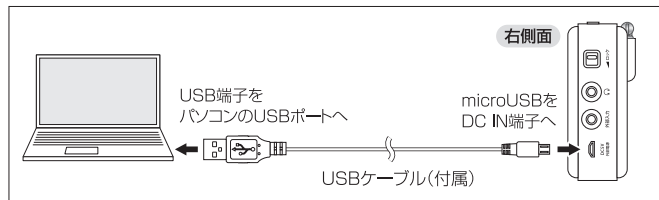
消去したファイルは復元できません：十分ご注意ください。

- 3 「ER」が点滅中にもう一度消去ボタンを押す=消去実行
消去後は、ERが点滅しながら総ファイル数が表示されます。ER点滅中にさらに消去ボタンを押すと次のファイルを連続で消去できます。フォルダー内のファイルがすべて消去された場合、次のフォルダーへ移動します。

PC-L 機能を使う

PC-L機能とは、お手持ちのパソコンとUSB-microUSBケーブル(付属)で接続し、パソコンの外部ストレージとして使う機能です。本機に装着されたmicroSDカードをパソコン上で認識できますので、ファイルデータのやりとりが簡単にできるようになります。

- 1 下図を参照し、本機(microSDカード装着済み)とパソコンを接続する。
本機のモードはSDカードモードにて行なってください。



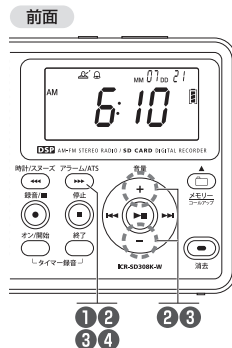
- 2 PC-L表示となり、自動的にパソコン上に本機のメディアが表示される。
- 3 パソコン上でファイル操作をする。
パソコンの操作方法はパソコンに付属する取扱説明書などをご参照ください。
- 4 PC-L機能を解除するには、電源ボタンまたはファンクションボタンを押す。

ヒント PC-L機能動作時のボタン機能について
電源ボタン：電源オフ。再度押すとPC-Lモード(ステップ2の状態)になります。
ファンクションボタン：SDモードにて各通常操作が可能となります。再度PC-Lモードにするには、ファンクションボタンにて再度SDモードを選択してください。

ご注意 PC-L機能動作中は、電源／ファンクションボタン以外のボタン操作はできません。また、乾電池が入っていてもパソコン側からの電源供給に切り換わります。

アラーム

アラーム音、ラジオ、microSDカードから音源を選択できます。
電源が切れた状態で設定してください。また、ラジオの場合は設定したい放送局を選んでから、電源をオフにして操作してください。



- 1 電源が切れた状態で、アラーム／ATS／10曲スキップボタン(+)を長押しする。
音源マーク(🔔 📻 📁 SD のいずれか)が点灯し、「時」表示が点滅します。
- 2 音量ボタン(+/-)でアラーム起動時刻の「時」を選び、アラーム／ATS／10曲スキップボタン(+)を押す。
「分」表示が点滅します。
- 3 ステップ2と同様の操作で、「分」を設定する。
- 4 アラーム／ATS／10曲スキップボタン(+)を数回押して、音源を選ぶ。
アラーム設定時刻が表示され、ボタンを押すたびに音源マークが、🔔 → 📻 → SD → 表示なしの順で切り換わります(表示なしは起動設定をしないの意)。マークを選び、約5秒間そのままにすると確定します(点滅が点灯に変化)。
アラーム／ATS／10曲スキップボタン(+)と電源／スリープボタンを除く任意のボタンを押した場合も設定が確定します。

マーク	音源
🔔	アラーム音
📻	ラジオ
📁	microSDカード内の音楽
表示なし	起動させない

ご注意

microSDカード内のファイル選択はできません。

アラーム (つづき)

ヒント アラーム設定の時刻を確認するには: アラーム / ATS / 10曲スキップボタン (+) を押すと、設定時刻が表示されます。このとき、音源マークが点滅しますが、そのまましばらくすると点滅が点灯に変わり、現在時刻表示に戻ります。

音源を変更したい場合は: 上記で音源マークが点滅中にアラーム / ATS / 10曲スキップボタン (+) を数回押して、マークを切り換えてください。

アラームが鳴ったら: アラーム / ATS / 10曲スキップボタン (+) を押すと鳴り止みます。このとき音源マークは点灯したままですので、翌日の同時刻に再び起動します。起動させたくないときは、アラーム / ATS / 10曲スキップボタン (+) を数回押して、音源マークを消してください。

アラーム起動中に時計 / スヌーズボタンを押すと: 約5分間アラーム音が停止し、その後再度アラームが起動します (最長約1時間までスヌーズ繰り返し可能)。スヌーズ中はスヌーズマークが点灯し、音源マークが点滅します。スヌーズを解除し、アラームを止めるときは、アラーム / ATS / 10曲スキップボタン (+) を押してください。

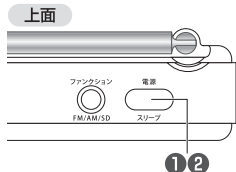


ご注意 ●アラーム音は起動時は小さく、その後徐々に大きくなりますので、近隣の迷惑にならないようご注意ください。

●ロック機能 (P7参照) がはたらいている状態では、アラームの停止、スヌーズの選択はできません。

スリープ

ラジオやmicroSDカードの音楽などを聴いているときに、自動電源オフまでの時間を設定することができます。



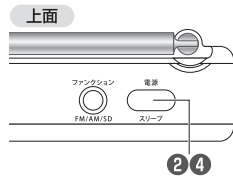
- 1 電源が入っているときに、電源 / スリープボタンを長押しし、「90」が表示されたらすぐに指を離す。スリープマークが点灯し、「90」が点滅します。
- 2 電源 / スリープボタンをさらに数回押して、電源オフまでの時間を設定する。「90」から10分単位で「00」まで変化します。設定したい数字を表示させてしばらくそのままにすると、設定が確定し、元の画面に戻ります (スリープ機能がオンのときはスリープマークが点灯します)。

ご注意 「00」に設定すると約3秒後に電源オフとなります。

ヒント スリープ設定を解除するには、電源 / スリープボタンを押して電源を切るか、上記の操作で「00」にセットしてください。

外部機器のスピーカーとして使う

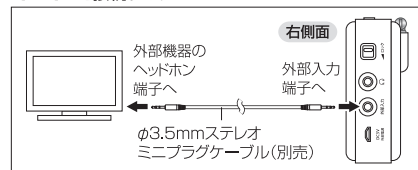
携帯音楽プレーヤーなどと接続して、本機をスピーカーとして使うことができます。また、長めのケーブルを使ってテレビと接続すれば、耳元スピーカーとしても活用できます (ただし、テレビ側仕様によりテレビからの音声出力はなくなります)。



※出力機器側の音量を下げた状態、また本機の音量20くらいの設定にて接続してください。

※外部マイク (コンデンサタイプ) はご使用になれません。

- 1 本機及び外部機器の電源が切れた状態で、下図を参照し、それぞれを接続する。

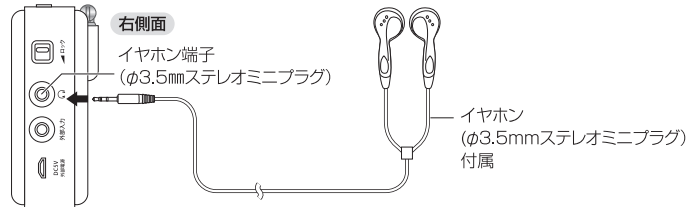


- 2 本機と外部機器の電源を入れる。ファンクションが自動的に外部機器に切り換わります (「LINE」点灯)。他のファンクションへの切り換えはできません。
- 3 外部機器側で再生などの操作をし、音量を上げる。聴き取りやすい音量になった後、音量調節は本機側で主に行なってください。
- 4 終了するときには、双方の電源を切った後、接続を解除する。



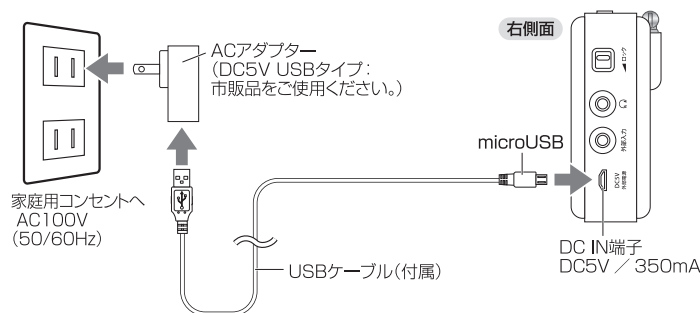
イヤホンで聴くときは

- 付属のイヤホン (φ3.5mmステレオミニプラグ) を本機右側面のイヤホン端子につなぎます。イヤホンをつなぐと、スピーカーからの音は聴こえなくなります。
- イヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 外部電源 (家庭用コンセント) でご使用時、イヤホンでお聴きになると、ハム音 (ラジオなどの音声に混じって聴こえる「ブーン」という音) が耳障りになることがあります。その場合は、乾電池にてご使用になられるようお願いいたします。



外部電源で使用するときは

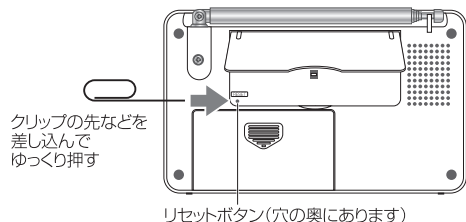
付属のUSBケーブルを使い、DC5V microUSBタイプのACアダプター(別売)を介して、本機右側面のDC IN端子と家庭用コンセントに接続します。DC IN端子に接続すると、乾電池が入っている場合でもACアダプターからの電源供給に切り換わります。



ヒント パソコンと接続して、USB電源供給で 사용할 こともできます。

リセットボタンについて

途中から操作ができなくなったり、意図しない動作をしたときは、背面のスタンドフラップを上げ、伸ばしたクリップなどを使って、リセットボタンをゆっくり押してみてください。



ご注意 リセット操作を行なうと、●現在時刻の設定 ●ファンクションのラストメモリー ●アラーム設定がリセットされますので、再設定が必要です。

故障かなと思ったら

症状	チェック項目
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●乾電池が正しく入っていますか。 ●乾電池が消耗していませんか。 ●外部電源のプラグが正しく接続されていますか (外部電源使用時)。 ●パソコンの電源は入っていますか。またはスリープ状態ではありませんか (外部電源としてパソコンと接続している場合)。 ●ロックされていませんか (ロックスイッチを確認してください)。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源が入っていますか。 ●音量が最小になっていませんか。 ●イヤホン端子にイヤホンが接続されたままになっていませんか。
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> ●近くで携帯電話を使用していませんか。また、テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信していませんか (雑音が入ることがあります、離して使用してください)。 ●乾電池が消耗していませんか (残量が少なくなると受信しづらくなります)。
microSDカードを認識しない	<ul style="list-style-type: none"> ●microSDカードスロットに正しく装着されていますか。 ●microSDカードが破損していませんか。 ●規格外のmicroSDカードではありませんか。
ファイル再生ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●音量が最小になっていませんか。 ●データの入っていないmicroSDカードではありませんか。 ●MP3以外のファイルが混在していませんか。 ●フォルダー構造が過度に多階層になっていませんか。

※途中から操作ができなくなったり、意図しない動作をしたときは、リセットボタンを押してみてください。それでも正常に戻らないときは、一度電源を切って乾電池を取り外した後、もう一度乾電池の装着からやり直してみてください。

※SDカードについて：SDカードの仕様／フォーマット形式やご使用状況により正常な録音／再生、またはご使用になれないことがあります。

※DRM(デジタル著作権管理) ファイルの再生はできません。

お手入れのしかた

本体の汚れは、柔らかな布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯が薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

保証書

持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
 - (ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	AM・FMラジオ付メモリーカードレコーダー	★お買い上げ日：	年	月	日
型番	ICR-SD308K-W	品番	09-3088	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)	
お客様	★お名前 様				
	★ご住所 〒 ()				

修理メモ

販売店	★住所 店名 電話		(印)

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735

電話受付 平日 9:00~17:30 土曜 9:00~17:00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

電話受付 **048-992-3970** 平日 9:00~17:00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

09-3088A